

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：大山崎町

プロジェクト名	次世代へつなぐ歴史と自然の保全・再生プロジェクト	実施期間	平成26年～平成29年	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ		<p>本町は町域の西半分を占める天王山を有し、古来より数々の歴史が残り、南部を流れる桂川と相まって豊かな自然が残る。しかし、天王山の森林は放置・荒廃竹林が増えており、町民の理解とともに、「産・学・官」の連携のもと、森林の保全・再生に向けた継続的な取り組みが必要である。加えて、本町に残る史跡等の歴史的意義をふまえ、「歴史と自然」の共生を図り、貴重な財産を次世代へ繋いでいかなければならない。また、本町に隣接した長岡京市に開業した阪急電鉄京都線の新駅を拠点とした人の流れや、京都第二外環状道路の開通による京都府北部地域へのアクセスの活用により、近隣の市町との連携のもとに総合的な視点での広域観光振興の展開を図る必要がある。こうしたテーマを地域の教育活動と文化財保護の啓発につなげるため、資料館などで企画展などを催し、啓発活動を行なう。更に最新の成果を紹介することで、各地の文化財情報や博物館施設と連携し、地域の視野とともに広域連携の視点も盛り込むことができる。</p>					
プロジェクトの目的及び概要		<p>住民はもとより、町外の人々の参画により、本町のもつ貴重な歴史と自然財産を保全・再生し、次世代へ引き継ぐための継続した取り組みを行う。歴史や自然の保全・再生の理解を得るためにも、歴史と文化にふれあうことのできる拠点と観光スポットのネットワークづくりを進め、文化財を展示、啓発できる環境を維持し、文化財の保護の重要性を後世に伝えていく。</p>					
総事業費（千円）		103,628		本年度事業費（千円）		60,729	
		交付金額（千円）				1,000	
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	大山崎瓦窯跡史跡整備事業	交付対象事業	平成18年度及び平成22年度、平成26年度に公有化した史跡地の保全と活用を目的とした史跡の整備		整備のための用地を買上、発掘調査		
	歴史資料館企画展開催事業	交付対象事業	第22回企画展「離宮八幡宮と中世の灯明油」を開催（平成26年10月25日～11月30日）		開催期間中の入館者数実績：1,949人		
	観光マップ作成事業	交付対象事業	外国人向けに京都駅発の「発地マップ」を作成		10,000部作成		
	天王山森林整備促進事業	関連事業	天王山中で伐採した不要竹を運搬するための作業道の整備。		平成26年度整備完了：653m（39.5%）（全長約1,653mうち府整備平成25年度：1,000m）		
成果指標①	成果指標の目標数値	歴史資料館企画展入館者数：1,400人		成果指標の実績値（平成27年3月31日時点）		歴史資料館企画展入館者数：1,949人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	当資料館にて開催した各種企画展が盛況であったことと、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」及びNHK朝の連続ドラマ「マッサン」の放映（影響）もあり、想定していた入館者数を大きく上回った。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		
成果指標②	成果指標の目標数値	森林整備用作業道の整備：615m/1,615m（38%）		成果指標の実績値（平成27年3月31日時点）		平成26年度整備完了：653m	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	京都府施工分(平成25年度)に続き町施工区間を基点から終点まで全て施工できた。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		
成	成果指標の目標数値	観光マップ作成（外国人向け）：10,000部		成果指標の実績値（平成27年3月31日時点）		10,000部作成	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：大山崎町

果 指 標 ②	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	予定通り、マップを作成。京都駅の観光案内所「京なび」にて配置し、外国人観光客の増加につなげている。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果 ※未達成の場合も効果 を記載すること	歴史資料館企画展では、地元に関わる国宝・重要文化財を展示することで、他地域との歴史的な関わりを持った地域史を掘り起こすことができた。 また、本町の観光資源である天王山や豊かな歴史遺産について着実に整備し、それらにまつわる行事、企画の実施により啓発を行うことによって町民はもとより町外、さらには外国人にも、一定、本町の魅力を伝えることができている。					
※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。						
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果			子ども歴史クラブ、夏休み子ども歴史教室などの小中学生を対象とした事業においても、本町に関わりの深い灯明や油搾りを啓発する事業を行い、地元の子どもの地域学習に積極的に繋げることができた。		
	府と市町村等との連携に資する成果			広報や啓発という点で、各自治体との連携を深めた。リレーウォークでは長岡京市とも連携し、西国街道に沿った史跡の紹介などと繋げることができた。また、連続講演会などを催し、近隣の八幡市との歴史的な繋がりについても掘り起こしに努めた。 天王山の森林整備においては、京都府の治山事業で平成25年度に作業道を100m施工していただき、その延長として町で653mを施工し天王山山頂付近まで完成させた。これにより、天王山の森林整備は加速して行われることになり、放置竹林から脱し、良好な里山として生まれ変わるようになるものと期待される。		
	住民の自治意識を高める成果			町の魅力を外部へ発信するためには、まずは足元の住民に伝えることが必要である。行事や企画展などの事業を通して地元文化財に対する理解を深めるとともに、地域の歴史と文化に対する愛着と啓発に繋げることができている。		
	広域的波及成果			歴史街道推進協議会の西国街道リレーウォークとも連携して企画展を開催し、来客者増加に繋げることができた。 観光業務は広域的に取り組んでこそ効果が表れるものであり、町のシンボル天王山や豊富な歴史遺産を整備し、PRすることで、町の魅力を発信する足掛かりを作ることができている。 また、天王山が良好な里山として生まれ変わることで、年間多く訪れるハイカーにとって良好な環境を整えることができ、天王山がより周知されることへも期待できる。		
	その他の成果			天王山の森林整備は、現在、企業（2社）の参画によって進められている。来年度以降、企業が積極的に天王山の森林整備に関わるようになることから、今回整備することができた作業道はこの事業に大きな力となるものと期待される。		

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。